

原稿執筆の要領

1. 原稿は、紀要編集事務局 (sportkiyou @ alice.asahi-u.ac.jp) に提出する。本文は原則 Microsoft Word 形式 (.docx) で作成し提出する。図表は Excel あるいは PowerPoint 等で作成し、図表番号を付けて提出する。なお、図表は 1 ページ毎に分けて提出する。
2. 次の書式に従って、原稿を提出する。(下記表を参照)
 - 1) 和文表題「MS 明朝、16 ポイント、太字」、和文著者名「MS 明朝、12 ポイント」
 - 2) 英文表題「Times New Roman、14 ポイント、太字」、英文著者名「Times New Roman、10 ポイント」
 - 3) 英文抄録「Times New Roman、9 ポイント」、キーワード「Times New Roman、9 ポイント」
 - 4) 本文 (和文)「MS 明朝、9 ポイント」(英文)「Times New Roman、9 ポイント」
 - 5) 本文は、上記において必要な項目を記述した後に、1 行を空けて書き始める。
3. 原著論文は英文の抄録 (250 語以内) と、5 語以内のキーワードを記載する。
著者名の右肩に星印「*」をつけ、第 1 頁の脚注に星印を先頭に下記のように記載する。
 - 1) 共同研究者が 2 人以上の場合、*は*¹、*²、*³ のようにする。
 - 2) *¹ 朝日大学保健医療学部健康スポーツ科学科
 - 3) *² ○○大学院○○研究科○○専攻
4. 章の番号付けは「I. II. III. …」、項目は「1. 2. 3. …」、項目以下は「(1) (2) (3) …」にする。
5. 英語・数字は半角とする。
6. 原稿は、図表・抄録を含めて、刷り上がり 10 頁以内を原則とする。また、図表は、原則として、刷り上がり 2 頁以内とする。
7. 図・表にはそれぞれ通し番号とタイトルをつけ、本文とは別に番号順に一括する。また、図表の挿入箇所は本文中に赤で明記することと、図中の文字や数字は鮮明に書く。
8. 引用文献は、本文の最後に著者名のアルファベット順で通し番号をつけ一括して記載する。
9. 引用文献の記載については、下記の要領による。
 - 1) 単行本の場合 (引用頁が限定出来る場合) : 著者名 (西暦年号) 書名. 発行社名 : 発行地. 引用頁.
 - 2) 単行本の場合 (引用頁が限定出来ない場合) : 著者名 (西暦年号) 書名. 発行社名 : 発行地.
 - 3) 編集 (監修) 書の場合 : 「編」または「監」を表記する。英文では編集者が 1 人の場合は (Ed.)、複数の場合は (Eds.) をつける。
 - 4) 雑誌の場合 : 著者名 (西暦年号) 題目. 雑誌名, 巻数, 頁数.
 - 5) 著者が複数で編集者がいる単行本やプロシーディングなどの場合 : 著者 (西暦年号) 題名. 編集者 (編) 書名. 頁数.
 - 6) ローマ字及びピリオドや括弧などの符号は半角で記す。
 - 7) 翻訳書の場合は、原著者の姓をカタカナ表記し、その後ろに翻訳書を記入する。また、原書は < > 内に付記する。
 - 8) Web サイトの内容を引用する場合は、URL の変更や内容の変更、Web サイトが閉鎖される場合があることで、参照日を必ず記入する。

【和文引用文献例】

例) 渋谷侃二 (1969) 運動力学. 大修館書店 : 東京, pp.17-22.

石原千秋編 (1992) 読むための理論. 世織書房 : 東京.

例) 竹島伸生, 竹下俊一, 植杉乾蔵, 植杉千枝子, 唐津邦利 (2014) 90 歳で 1000 回を超えるゴルフエイジシュート達成男性プレーヤーの身体活動量. スポーツパフォーマンス研究, 6 (1), 222-232.

例) 山本徳郎 (1992) ドイツのスポーツ. サントリー不易流行研究所 (編). スポーツという文化. TBS フリタニカ: 東京, 121-139.

例) ブルーム: 菅野盾樹ほか訳 (1988) アメリカン・マインドの終焉. みすず書房: 東京, pp. 21-26.

例) 科学技術振興機構. 目的別メニュー: 陸上競技. http://sist-jst.jp/menu_purpose/index.html (参照日 2017 年 10 月 1 日).

【英文引用文献例】

例) Clifford, C. and Feezell, R. M. (1997) Coaching for character. Human Kinetics Publishers, Inc.: IL, pp.56-60.

例) Landman, F. (1989) Group, I. Linguistics and Philosophy, 12 (5), 559-605.

例) Kiparsky, P. (1968) Linguistic universals and linguistic change. In: Bach I. and Harms, R. T. (eds.). Universal in linguistic theory. Rinehart and Winston: California, 171-202.

10. 本文中に、引用文献の提示は次の例に従う。

要因として、攻撃性・規則違反など¹⁾の逸脱行為が報告されている^{23)p.12}。しかし、勝利至上主義の概念や過度な欲求で社会的な相互作用の立場^{2-5, 12)}から…

11. 注をつける場合は、本文中にその箇所の右肩上に、^{注1)}、^{注2)}のように通し番号をつける。本文の末尾に一括して番号順に記載する。

ワード (Microsoft Word 2016 基準) 様式設定表

表題 (和文)	MS 明朝、16 ポイント、太字
表題 (英文)	Times New Roman、14 ポイント、太字
著者 (和文)	MS 明朝、12 ポイント
著者 (英文)	Times New Roman、10 ポイント
英文抄録	Times New Roman、9 ポイント
本文 (和文)	MS 明朝、9 ポイント
本文 (英文)	Times New Roman、9 ポイント
表番号	MS 明朝、9 ポイント、太字
基本設定	日本語用のフォント: MS 明朝 英数字用のフォント: Times New Roman スタイル: 標準 文字数と行数: A4 判縦置き横書き、全角 40 字 30 行 行と段落の間隔: 1.5 レイアウト (余白): 上・下・左・右: 20mm

1. 2017 年 6 月制定
2. 2018 年 5 月改正
3. 2019 年 9 月改正
4. 2021 年 9 月改正